

ー公共建築月間イベントー
熊本地震における建築物被害の状況と原因分析に関する報告会

1. 開催趣旨

2016年4月14日から16日にかけての前震と本震は震度7を観測し、その後の余震でも震度5～6の揺れが頻発するなど、今までに経験したことのない揺れにより、新耐震基準以降の建物倒壊や一部地域における阪神淡路大震災を上回る木造倒壊率といった想定外の被害が発生しました。

原因分析や今後の基準見直しに対する関心が高まる中、国土交通省と建築研究所による検討会が設置され、建築学会等が実施している被害調査内容も含めた情報収集や専門的・実務的知見を活かした原因分析が行われ、「平成28年熊本地震調査研究（速報）」が公開されました。

そこで、被害調査や原因分析に携わられている研究者を招聘し、公共建築や住宅被害に関する最新情報を分かりやすく説明していただくことにより、県内公共団体建築職員、設計士、施工業者等の知識習得を図るとともに、今後の公共建築の安全確保に向けての施策推進や南海トラフ巨大地震対策に活かすことを目的としています。

2. 開催概要

- (1) 主催 徳島県
共催 「公共建築の日」及び「公共建築月間」四国地方実行委員会
徳島県ゆとりある住生活推進協議会
- (2) 対象者 建築設計・施工業者、建築士、行政職員、学生、その他
- (3) 日時等 日 時：平成28年11月8日（火） 14：00～16：30
会 場：徳島グランヴィリオホテル1階
定 員：150人（先着順。要事前登録）
参加費：無料
- (4) 申込み 所属、氏名、連絡先を記入の上、10月31日（月）までに下記申込先へ
徳島県県土整備部営繕課 大和、森中宛て
FAX:088-621-2929 または e-mail:eizenka@pref.tokushima.jp

3. プログラム

13:30 開場

(14:00～14:10)
開会あいさつ

(14:10～15:10)

講演1 「速報の全体概要と鉄筋コンクリート造建築物の被害について」
国立研究開発法人 建築研究所 中村聡宏氏

(15:20～16:20)

講演2 「鉄骨造建築物の被害について」
国立研究開発法人 建築研究所 三木徳人氏

(16:20～16:30)

その他（情報提供、質疑応答）

16:30 終了